

平成21年度第10回教育研究評議会議事録

日 時 平成22年1月20日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時45分
場 所 第1会議室
出席者 学長、高橋理事、佐々木理事、田牧副学長、青木副学長、佐々木教授、野矢教授、
榮坂教授、阿部教授、照井教授、高橋地域共同研究センター長、吉田機器分析セ
ンター長、庄子未利用エネルギー研究センター長、亀丸情報処理センター長、山
岸国際交流センター長、羽二生技術部長、石川事務局長、柴野教授、山下教授、
吉田(公)教授、鈴木(正)教授、堀内教授、増田教授、鈴木(一)教授
欠席者 小野理事、鈴木(輝)教授、青山教授、
陪 席 土岐監事、高松監事

議事に先立ち、平成21年度第9回教育研究評議会議事録が異議なく確認された。

議 事

議 題

1 教員の選考について

(1) 共通講座教授または准教授(経営学)の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の照井教授から別紙(資料1-1~1-3)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、斎藤正美氏が教授適格者として承認された。

(2) 共通講座教授または准教授(英米文学)の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の照井教授から別紙(資料2-1~2-3)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、三枝和彦氏が准教授適格者として承認された。

(3) マテリアル工学科助教の選考について

学長から、本件については、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の松田教授から別紙(資料3-1~3-3)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第7条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、浪越毅氏が助教適格者として承認された。

(4) マテリアル工学科教授（機能有機材料）選考委員会の設置について
学長から、本件については、マテリアル工学科から平成22年4月1日付け学内昇任人事の申し出があり、12月7日開催の役員会の議を経て提案する旨説明の後、別紙（資料4）に基づき説明があり、異議なく承認された。

(5) マテリアル工学科教授（機能金属材料）選考委員会の設置について
学長から、本件については、マテリアル工学科から平成22年4月1日付け学内昇任人事の申し出があり、12月7日開催の役員会の議を経て提案する旨説明の後、別紙（資料5）に基づき説明があり、異議なく承認された。

(6) マテリアル工学科教授（機能材料物性）選考委員会の設置について
学長から、本件については、マテリアル工学科から平成22年4月1日付け学内昇任人事の申し出があり、12月7日開催の役員会の議を経て提案する旨説明の後、別紙（資料6）に基づき説明があり、異議なく承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 各専攻共通

学長から、大学院担当教員の選考について別紙（資料7-1～7-2）に基づき説明の後、本件については、議題1（1）、（2）にて同人の教員選考について審議した際に、実質的に大学院担当の資格審査を行っていることから、可否投票を行わずに大学院担当教員として選考したい旨説明があり、斎藤正美氏については「M可」「D可」、三枝和彦氏については「M可」とすることが異議なく承認された。

3 非常勤講師の選考について

総務課長から、別紙（資料8-1～8-2）に基づき、非常勤講師の選考について説明があり、異議なく承認された。

4 北見工業大学の理念と使命、基本目標について

田牧副学長から、本件については、11月30日開催の役員会の議を経て12月9日開催の教育研究評議会にて改正の審議を行ったものの、表現をより適切なものとするため、別紙（資料9）のとおり修正する改正を12月18日開催の役員会の議を経て提案する旨説明があり、異議なく承認された。

5 各センター長等の候補者の選考について

審議に先立ち、学長から、平成22年4月1日付け就任予定の理事、副学長及び学長補佐について、報告があった。

理事（総務）・副学長： 高橋 信夫 教授
理事（学務）・副学長： 田牧 純一 教授
副学長（教育）： 田村 淳二 教授
副学長（研究）： 吉田 孝 教授

学長補佐（研究推進）： 青木 清 教授
学長補佐（地域連携）： 高橋 修平 教授
学長補佐（学生支援）： 柴野 純一 教授
学長補佐（入 試）： 山下 聡 教授

（１）地域共同研究センター長

学長から、別紙（資料１８－１～１８－２）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、投票を行った。

投票の結果、川村彰教授が次期地域共同研究センター長候補者に選考され、平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日までの任期で次期センター長として選考された。

（２）機器分析センター長

学長から、別紙（資料１８－１～１８－２）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、投票を行った。

投票の結果、堀内淳一教授が次期機器分析センター長候補者に選考され、平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日までの任期で次期センター長として選考された。

（３）情報処理センター長

学長から、別紙（資料１８－１～１８－２）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、投票を行った。

投票の結果、榮坂俊雄教授が次期情報処理センター長候補者に選考され、平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日までの任期で次期センター長として選考された。

（４）技術部長

学長から、別紙（資料１８－１～１８－３）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、投票を行った。

投票の結果、亀丸俊一教授が次期技術部長候補者に選考され、平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日までの任期で次期技術部長として選考された。

（５）保健管理センター所長

学長から、別紙（資料１８－１）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、本田明教授を次期保健管理センター所長としたい旨の説明があり、異議なく承認された。

なお、任期は、平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日までとなる旨の説明があった。

（６）国際交流センター長

学長から、別紙（資料１８－１）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、山岸喬教授を次期国際交流センター長としたい旨の説明があり、異議なく承認された。

なお、山岸喬教授の定年が平成２３年３月３１日であることから、任期は、平成２２年４月１日から平成２３年３月３１日までの１年間となる旨の説明があった。

(7) 未利用エネルギー研究センター長

学長から、別紙（資料18-1）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、庄子仁教授を次期末利用エネルギー研究センター長とする旨の説明があった。

なお、任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日までとなる旨の説明があった。

(8) ものづくりセンター長

学長から、別紙（資料18-1）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、富士明良教授を次期ものづくりセンター長とする旨の説明があった。

なお、任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日までとなる旨の説明があった。

(9) サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長

学長から、別紙（資料18-1）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、羽二生博之教授を次期サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長とする旨の説明があった。

なお、任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日までとなる旨の説明があった。

(10) 知的財産本部長

学長から、別紙（資料18-1）に基づき、候補者の資格及び選出方法について説明の後、鞘師守教授を次期知的財産本部長とする旨の説明があった。

なお、任期は、平成22年4月1日から平成24年3月31日までとなる旨の説明があった。

また、学長から、学科長、講座主任及び各種委員会等委員については、各学科等で選出の上、2月26日（金）までに総務課総務担当へ推薦願いたい旨の説明があった。

報告事項

- 1 大学院担当教員の資格再審査について (高橋理事)
- 2 平成21年度教員評価について (佐々木理事)
- 3 第1期中期目標期間の評価に係る本学を代表する優れた研究業績について
(資料10-1～10-2) (佐々木理事)
- 4 平成20年度決算検査報告について (資料11) (高橋理事)
- 5 目的積立金の執行計画及び学内補正予算について (資料12) (高橋理事)
- 6 平成21年度共同研究の受入れについて (資料13) (研究協力課長)
- 7 平成21年度受託研究の受入れについて (資料14) (研究協力課長)
- 8 平成21年度奨学寄附金の受入れについて (資料15) (研究協力課長)
- 9 平成22年度父母懇談会について (資料16) (田牧副学長)
- 10 平成22年度予算案内示について (資料17) (高橋理事、佐々木理事)
- 11 その他
(1) 教員の選考について (学 長)

次回教育研究評議会開催日 平成22年2月24日（水）午後3時開催予定